

三原中学校 三年生 エッセイ

①

AIへの恐怖と不安

これからの生活で僕は、AIに対して使い方に気を付けなければいけないと思うし、気を付けても悪用はあると思います。だから、この時代のAIの発展には反対です。

その理由としてAIによって49%の仕事がなくなるということ、またAIが使えなくなった場合、人類が急速に退化すると思うからです。

現に今の時代、スマホなどのコンピューターがなければ生きていくことが困難になっています。また、これからもっともっとAIの研究が進み、さらに高度なものになってくると、AIによって解析されたデータを基に人間をだましたり、コンピューターウイルスの感染力が強くなったりと、悪影響があるのではないでしょうか。

そして万が一、AIを制御できなくなってしまった場合、人間がどうこうできる問題じゃなくなるかもしれません。

このようなことからAIに対する恐怖、不安は今の時代にはまだあると思います。AIに対する恐怖や不安がなくなるその時が、AIとの共存になると思います。

②

人間とA Iがいつしよに

私は、これから人間と人工知能（A I）が一緒に仕事をしていく時代になっていくと思う。私はそれに賛成する。なぜなら人間とA Iが一緒に仕事をする事で、効率よく仕事を行えると思うからだ。

調べると、A Iと人間の得意なこと、苦手なことには相違点が見られる。私はその相違点をみて、一緒に作業すると効率が良くなるのではないか、と思った。

例えばA Iは人間よりも速く正確にルールに沿った作業ができるのに対し、クリエイティブな作業をするのは苦手としている。その点について人間は、創造力や発想力を生かし独自の思考を見いだすことができる。

この人間とA Iの組み合わせは人間がつくり出した大量の情報から、ある条件を満たすものを選ぶような作業をするときには最適だと思う。

この他にも人間とA Iが一緒に作業することで、これまでできなかったことができるようになることも、あると思う。

このように人間とA Iがそれぞれ得意なことを担当して作業を進めていくことで、作業効率があがり、世の中によりよい発展につながると思う。なので私は、A Iと人間が一緒に仕事をしていく時代に賛成する。

